



校報しののめ 3月号

令和8年3月6日 松山市立東雲小学校



保護者や地域の皆様とともに

校長 山内 望

第3学期の始業式で、「3学期は、1, 2学期と比べて日数が少なく、あっという間に過ぎてしまうので、学年のまとめと来年度に向けて、1日1日を大切に過ごしましょう。」という話をしました。3月に入り、本当にあっという間に今月が来てしまったという感じです。

先月末頃から少しずつ暖かくなり、春の訪れを実感できるようになりました。そのような中、本校では2月26日(木)に「縦割り班遠足」を実施しました。この遠足の目的は、以下のとおりです。

- 異年齢の集団活動を通して、豊かで深まりのある温かい人間関係をつくり、お互いを大事にし合う気持ちを育てる。
- 地域を探索し、人や物、文化に触れる中で、「ふるさと東雲」を愛する心情を育てる。

遠足は、赤組、白組それぞれ12班を編成し、1班12名~15名程度の異年齢の集団(1年生~6年生)で歩きました。学校を起点に「六角堂→東雲公園→秋山兄弟生誕地→東雲神社→松山城」というコースを、6年生が縦割り班の班員を連れて、クイズに答えながら各ポイントを巡っていく遠足です。私は、初めての「縦割り班遠足」だったので、子どもたちと一緒に歩きました。6年生を中心に、友達の速さに合わせて歩く姿、遅れ気味の友達に励ましの言葉を



秋山兄弟生誕地

掛けたり、手を引いたりする姿、保護者や地域の方に自分から挨拶をする姿など、気持ちのよい姿をたくさん見ることができました。6年生にとっては、先生方の引率なしに校外に出て、安全にみんなを連れて帰ってこなければならないという初めての”ミッション”に、かなり緊張していたようです。見事にやり切って帰ってきた6年生は、皆ほっとしたような表情を浮かべていました。東雲小学校のリーダーとして頑張った1年間を締めくくるにふさわしい1日となりました。

このような貴重な経験ができたのは、遠足経路の危険箇所立って安全確認をしていただいた多くの保護者の皆様、六角堂や秋山兄弟生誕地で分かりやすく説明をしていただいた皆様、通りすがりに温かな言葉を掛けていただいた地域の皆様などのおかげだと心より感謝申し上げます。このように、御家庭や地域の皆様のお力もお借りしながら、優しい気持ちを持った「ふるさと東雲」を愛する子どもたちを育てていきたいと改めて思いました。

令和7年度、保護者や地域の皆様に温かい御支援を賜り、充実した教育活動を行うことができました。今後とも、東雲小学校に変わらぬ御支援、御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



1年間をふり返って



わたしの一ばんのおもい出は、なわとびができるようになったことです。ようちえんのころは、一びょうしもできませんでした。ともだちが「まわしてからジャンプしたらいいよ。」といってくれたので、やってみると、できるようになりました。だんだんたのしくなってきた、ほかのとびかたもしたくなりました。れんしゅうして、うしろとびやかかけ足とびもできるようになりました。むずかしいあやとびや二じゅうとびもチャレンジしたいです。

1年



ぼくが一年間でがんばったことは、算数です。九九をならったとき、家でも毎日れんしゅうをしました。7のだんがむずかしかったけど、れんしゅうするとすらすら言えるようになりました。今では、ぜんぶのだんが合かくになりました。体育もがんばりました。ボール投げゲームでは、たくさんポイントが取れてうれしかったです。もうすぐ3年生になるけど、だれにでもやさしくできるかっこいい3年生になりたいです。

2年



この1年で1番楽しかったことは、運動会です。去年はかけっこが4位でくやしかったので、お母さんや先生が教えてくれたコツをうまく使って、1位になれたことがうれしかったです。勉強では、算数の「小数のひっ算」をがんばりました。4年生になって下の学年に教えてあげることもあると思うので、その時はしっかり教えてあげたいです。授業も難しくなっていくと思うけど、来年も友達と一緒に学校生活を楽しみ、がんばっていきたいです。

3年

ぼくが、一番心に残っているのは松山城のガイド活動です。本番では、たくさんのお客さんに「分かりやすく」「ゆっくり」「正確に」話すことを意識しながらがんばりました。ガイドを聞いてくれた観光客の人たちとたくさんお話ができて、観光客の人のことについても知ることができたのでうれしかったです。タイピングコンテストに向けて、練習もがんばりました。ぼくは、毎年タイピングコンテストを楽しみにしています。自己ベストは出なかったけど、一生けん命にがんばることができました。4年生で学んだことを今後の生活でも生かしたいです。

4年



一番思い出にのこっているのは、松山じょうガイドです。天しゅかくから、JR松山駅が見えました。ガイドは、ちようじゃがなるのたんとうで、ぼくは、クイズを出しました。がんばりました。たくさんおきゃくさんがきて、うれしかったです。たんじょうさいにもしょうたいしてもらいました。おもちつきをしたり、チャンバラをしたりしました。

くすのき



ぼくは、「ハートフル東雲」で、耳の不自由な方と交流したことが心に残っています。手話や指文字など、コミュニケーションの仕方を教えていただきました。また、生活の様子も教えていただきました。たくさんの方の工夫をされて、すごいなと思いました。でも、不便なことや大変なことあるということに気が付きました。様々な立場の方との交流や調べ学習を通して、みんなが幸せにくらせるために、ぼくたちにもできることがたくさんあるということ学びました。

5年



辛いときも楽しいときも夢はあると教えてくれたのが未来マップでした。未来マップを作るときは、お互いのいいところや趣味を伝え合いました。そのおかげで、共通の話題ができ、休み時間に新たな会話が生まれました。未来マップを作って、人間は一人では生きていけないということに気が付きました。楽しいときも辛いことを乗り越えるときも、そばに誰かがいてくれる未来を想像すると嬉しくなります。毎年ドリームマップを見返して、未来向上のため、未来マップを育て続けていきたいです。

6年

